

開館10周年記念

# 横尾忠則展 満満腹腹満腹

10th Anniversary Exhibition

Yokoo Tadanori: A Full Stomach! (Man-Man-Puku-Puku-Man-Puku)

2023年1月28日(土)―5月7日(日)

開館時間 10:00―18:00

※ 入場は閉館の30分前まで

休館日 月曜日

会場 横尾忠則現代美術館



ポスター(デザイン:横尾忠則)

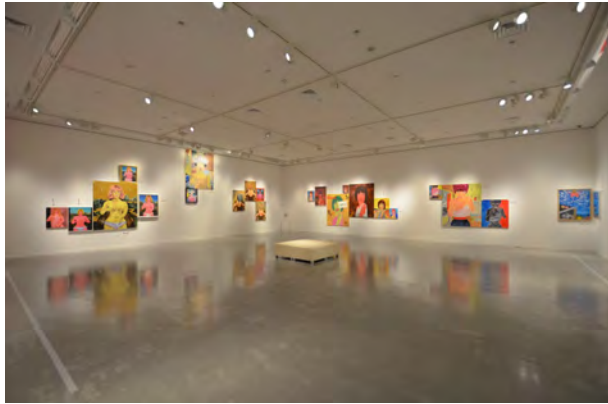
## 展覧会について

開館10周年を記念し、これまでに開催した企画展をダイジェストで振り返る展覧会、「横尾忠則展 満満腹腹満腹」を開催します。

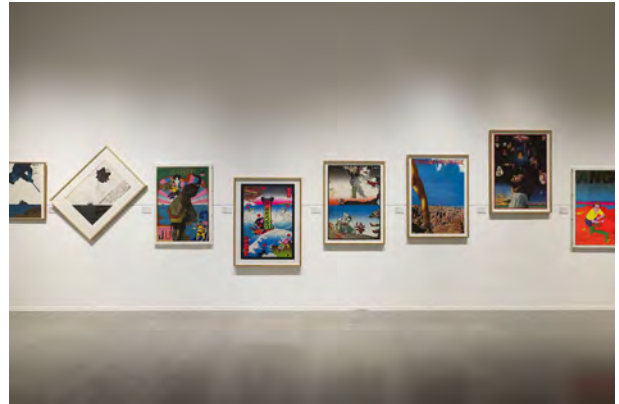
2012年の開館以来、当館は様々な角度から横尾の芸術に光を当ててきました。それは絶えざる変貌を求める作家の精神を反映した、一種の実験場のようでもありました。

10年前の開館記念展「反反復復反復」のセルフ・パロディーでもある本展では、限られた展示空間に、これまで開催された約30本の展覧会を限界まで詰め込むことを試みます。そこに立ち現れるカオス的な空間は、86歳を過ぎてもなお精力的に制作し続ける横尾の、尽きることのないエネルギーを象徴するものとなるでしょう。

## 技法・造形



1.  
横尾忠則展 反反復復反復  
2012年11月3日(土)～2013年2月17日(日)



7.  
横尾忠則展 枠と水平線と・・・ グラフィック・ワークを超えて  
2014年7月12日(土)～9月28日(日)



10.  
横尾忠則展 カット&ペースト 切った貼ったの大立ち回り  
2015年4月18日(土)～7月20日(月・祝)

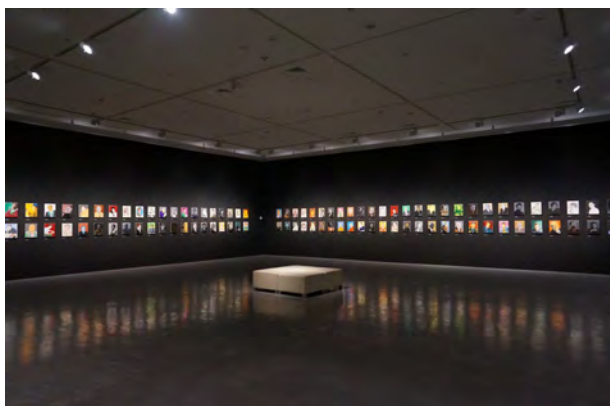


30.  
横尾さんのパレット  
2022年8月6日(土)～12月25日(日)

本展は、これまで当館で開催された 30 本の企画展を、年代順にダイジェストで紹介するものですが、ここではより分かりやすいように、いくつかの例をピックアップし、傾向ごとに分類してご説明します。

まず制作の手法や技法、造形的な特徴に着目した展覧会をご紹介します。記念すべき開館記念展「反反復復反復」は、実は作家自身の発案によるもので、同じモチーフを何度も繰り返し再生産するという、横尾さんならではの手法に着目したものでした。「枠と水平線と・・・」は、これまでのところ唯一のグラフィック作品(ポスター)中心の展覧会であり、また当館で初めてゲスト・キュレーター(当時兵庫県立美術館の学芸員だった出原均)を迎えたものでもありました。様々な造形的な切り口から横尾さんのポスターを分析し、それらが実は極めて絵画的な思考に裏付けられていることを示す試みとなりました。「カット&ペースト」は、80年代末から90年代初頭にかけて、要素を切り貼りするコラージュ的な性格が前面に押し出された一時期に着目し、その造形思考に迫ろうとするものでした。また「横尾さんのパレット」は、他の要素を一切度外視し、作品を「色彩」のみを基準に分類するという、ありそうでなかった試みです。シンプルなコンセプトから、企画者自身も横尾さんも驚くような華麗な空間が立ち上がりました。

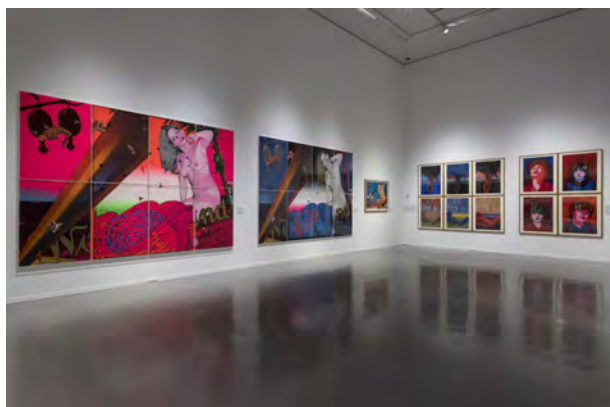
## モチーフ・シリーズ



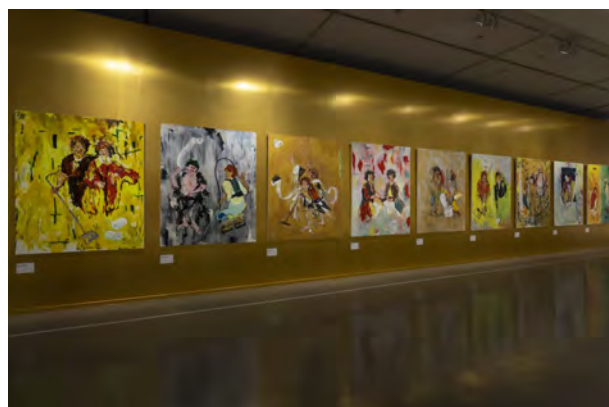
4.  
横尾忠則 肖像図鑑 HUMAN ICONS  
2013年9月28日(土)～2014年1月5日(日)



12.  
横尾忠則 幻花幻想幻画譚  
2015年12月12日(土)～2016年3月27日(日)



17.  
横尾忠則 HANGA JUNGLE  
2017年9月9日(土)～2018年2月4日(日)



29.  
Forward to the Past 横尾忠則 寒山拾得への道  
2022年4月9日(土)～7月18日(月・祝)

これらの展覧会は、横尾さんの作品の中でもまとまった数量のあるシリーズ作品などから構成したものです。「肖像図鑑」では、横尾さんの代表的なポートレート・シリーズである「奇縁まんだら」「文豪シリーズ」を中心に、当館歴代最多の約 600 点もの作品により、人物表現の妙をご紹介します。同展の中心となった「奇縁まんだら」は、瀬戸内寂聴さんのエッセイの挿絵として制作されたものですが、「幻花幻想幻画譚」は同じく瀬戸内さんの時代小説「幻花」のために制作された挿絵と扉絵、計 371 点を紹介するものでした。70 年代の横尾さんならではの鬼気迫る細密描写は見応え充分で、さらに一部の挿絵を壁画サイズに拡大することで、まるで物語の世界に入り込むかのようなディスプレイも大きな見どころとなりました。「HANGA JUNGLE」は町田市立国際版画美術館との巡回展として企画されたもので、横尾さんが制作した全版画約 260 点を紹介しました。当館の展示面積は町田よりもはるかに狭いのですが、2 段がけ、3 段がけを駆使して全ての作品を展示し、ジャングル感満載の濃密な空間が出現しました。「寒山拾得への道」は近年の横尾さんが精力的に取り組んでいる寒山拾得シリーズと、その朦朧とした筆触の前触れと考えられる旧作とを対比的に展示するというものでした。

## アーカイブ



8.  
記憶の遠近術 ～篠山紀信、横尾忠則を撮る  
2014年10月11日(土)～2015年1月4日(日)



9.  
横尾忠則 大涅槃展  
2015年1月24日(土)～3月29日(日)



14.  
ヨコオ・マニアリズム vol.1  
2016年8月6日(土)～11月27日(日)



21.  
横尾忠則 大公開制作劇場 ～本日、美術館で事件を起こす  
2019年1月26日(土)～5月6日(月・振替休日)

当館では横尾さんの作品にとどまらず、その背景に迫る関連資料を整理・公開するアーカイブ・ルームを併設しています。特にグラフィック・デザイナー時代の横尾さんは、文学、音楽、映画、演劇など同時代のクリエイターたちとコラボレーションし、数々の名作ポスターを生み出してきました。そうした交流の様子を窺い知ることのできる資料の数々は、横尾芸術のみならず、戦後文化の歴史を知る上でも貴重なものといえます。

「記憶の遠近術」は当館で唯一、横尾さん以外のアーティストをフィーチャーしたものです。写真家の篠山紀信さんが60～70年代に横尾さんと、横尾さんにとってのアイドル的な人物とのツーショットを撮影したシリーズ写真を中心にご紹介しました。「ヨコオ・マニアリズム」は、まさに当館のアーカイブ・ルームの活動に光を当てるもので、展示室内で学芸員が公開資料整理を行うという、前代未聞の展覧会でした。

また横尾さんは収集魔としても知られています。「大涅槃展」では横尾さんが一時期熱狂的に収集していた涅槃像コレクション約600点を展示しました。涅槃像といっても、お釈迦さまから水着の美女に至るまで、もはや寝そべっていればなんでもありか？と思うほど多岐多彩です。それらが一堂に会すると、強烈な磁場が発生し、聖俗が渾然一体となった横尾ワールドが立ち上がるのです。「大公開制作劇場」は横尾さんが頻繁に行ってきたライブ・ペインティングで描かれた作品を、その記録映像とともにご紹介しました。

## 美術館コスプレ



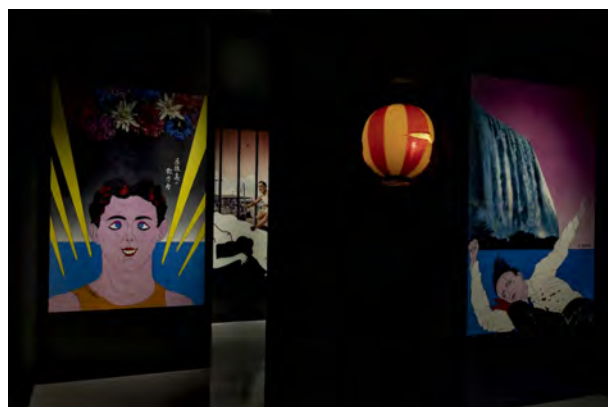
3.  
横尾忠則どうぶつ図鑑 YOKOO'S YOKOO ZOO  
2013年7月13日(土)～9月16日(月・祝)



15.  
ようこそ!横尾温泉郷  
2016年12月17日(土)～2017年3月26日(日)



24.  
兵庫県立横尾救急病院展  
2020年2月1日(土)～8月30日(日)



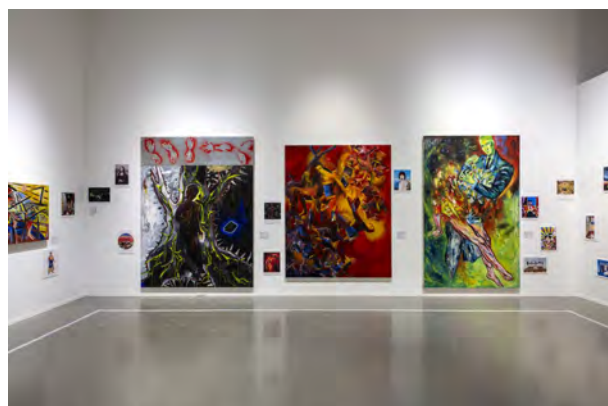
28.  
横尾忠則の恐怖の館  
2021年9月18日(土)～2022年2月27日(日)

美術館が他の施設に化けるこれらのシリーズを、我々は「美術館コスプレ」と呼んでいます。「どうぶつ図鑑」はいわば美術館を動物園化するもので、動物をモチーフにした横尾作品に加えて、神戸市立王子動物園とコラボレーションし、同園が所蔵する様々な動物の剥製が館内のそこかしこに鎮座しました。エレベーターを降りたら巨大なホッキョクグマがいたり、ペンギンがペンギンの絵を鑑賞していたりと、前代未聞のへんてこりんな展覧会となりました。「横尾温泉郷」はそのものずばり、美術館が温泉施設や銭湯に化けるものです。温泉や銭湯をモチーフにした横尾作品を中心としつつ、1Fでは温泉卓球が楽しめ、展示室に巨大な湯船が出現するなど、もうやりたい放題。横尾さんの「温泉地といえばソフトクリーム!」という鶴の一声で集められた電飾看板は人気の撮影スポットとなり、「インスタ映え」のはしりとなりました。「救急病院展」は「病気と入院が趣味」という横尾さんの生き方を通じて、そのアートの秘密に迫る試みでした。たまたま県立病院の統廃合のタイミングと重なり、要らなくなった医療器具をたくさん提供してもらえたことから、リアルな病院のような空間で作品を鑑賞するという、なんとも奇妙な展覧会となりました。「恐怖の館」は美術館をお化け屋敷化したもので、舐めてたら案外怖い、ということで人気に火がつき、まさかのヒット作となりました。まず会場に向かうエレベーターが血まみれ。展示室から聞こえてくる悲鳴は効果音なのか、お客さんの声なのかはや分からないという、振り切れた展覧会でした。

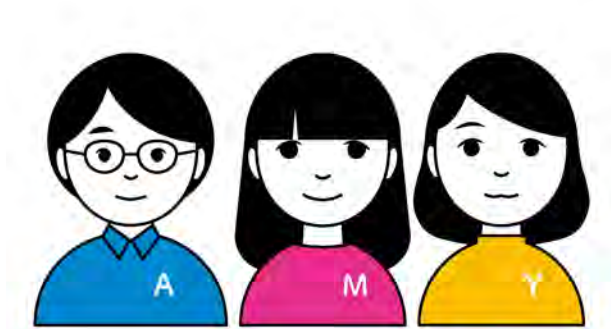
## やけくそ



20.  
横尾忠則 在庫一掃大放展  
2018年9月15日(土)～12月24日(月・振替休日)



26.  
横尾忠則の緊急事態宣言  
2020年9月19日(土)～12月20日(日)



27.  
Curators in Panic～横尾忠則展 学芸員危機一髪  
2021年3月27日(土)～8月22日(日)

横尾さんはとても自由なアーティストなので、スケジュール通りに物事が進むとは限りません。ある時、「君たちは下手くそだから、一度ぼくに展覧会をキュレーションさせてほしい」といわれました。「分かりました。それなら、ぜひゲスト・キュレーターとして企画をお願いします。まずはコンセプトと出品候補作品のリストをいただければ」と返事したのですが、待てど暮らせどリストが来ません。ついに他の美術館などに出品依頼できるタイムリミットを過ぎてしまいました。「もう間に合いません。どうしましょう」「うーん、困ったな。じゃあ、なんか適当にやっという」といわれ、大慌てで企画したのが「在庫一掃大放展」です。当館での展示実績のない作品(未発表ではなく)ばかりを集め、「蔵出し」のニュアンスを込めたタイトルとし、のぼりを立てたり、監視員さんにハッピーを着てもらったり、全体にセール会場のような雰囲気を出しました。

2020年にはコロナ禍により、他館や個人から作品を借用することが難しくなり、またしても大慌てで所蔵・寄託品のみによる「緊急事態宣言」展を開催しました。翌2021年になってもコロナの勢いは相変わらずで、さらに東京都現代美術館ほかで開催された過去最大規模の個展「Genkyo 横尾忠則」に200点もの作品を貸し出したため、収蔵庫がスカスカに。この状況を自虐的に主題化したのが「学芸員危機一髪」です。残り物にも可愛い作品があるんやで、と各学芸員が推しの作品を持ち寄るような企画となりました。

というわけで、当館の歩みは「天才」と「天災」に翻弄され続けた10年でもありました。

## 展覧会リスト

---

1.  
横尾忠則展 反反復復反復  
2012年11月3日(土)～2013年2月17日(日)
2.  
横尾忠則展 ワード・イン・アート  
2013年3月2日(土)～6月30日(日)
3.  
横尾忠則どうぶつ図鑑 YOKOO'S YOKOO ZOO  
2013年7月13日(土)～9月16日(月・祝)
4.  
横尾忠則 肖像図鑑 HUMAN ICONS  
2013年9月28日(土)～2014年1月5日(日)
5.  
横尾忠則の「昭和NIPPON」 ―反復・連鎖・転移  
2014年1月25日(土)～3月30日(日)
6.  
横尾探検隊 LOST IN YOKOO JUNGLE  
2014年4月12日(土)～6月29日(日)
7.  
横尾忠則展 枠と水平線と・・・ グラフィック・ワークを超えて  
2014年7月12日(土)～9月28日(日)
8.  
記憶の遠近術 ～篠山紀信、横尾忠則を撮る  
2014年10月11日(土)～2015年1月4日(日)
9.  
横尾忠則 大涅槃展  
2015年1月24日(土)～3月29日(日)
10.  
横尾忠則展 カット&ペースト 切った貼ったの大立ち回り  
2015年4月18日(土)～7月20日(月・祝)
11.  
横尾忠則 続・Y字路  
2015年8月8日(土)～11月23日(月・祝)
12.  
横尾忠則 幻花幻想幻画譚  
2015年12月12日(土)～2016年3月27日(日)
13.  
横尾忠則展 わたしのポップと戦争  
2016年4月16日(土)～7月18日(月・祝)
14.  
ヨコオ・マニアリズム vol.1  
2016年8月6日(土)～11月27日(日)
15.  
ようこそ!横尾温泉郷  
2016年12月17日(土)～2017年3月26日(日)
16.  
ヨコオ・ワールド・ツアー  
2017年4月15日(土)～8月20日(日)
17.  
横尾忠則 HANGA JUNGLE  
2017年9月9日(土)～2018年2月4日(日)
18.  
横尾忠則の冥土旅行  
2018年2月24日(土)～5月6日(日)
19.  
横尾忠則 画家の肖像  
2018年5月26日(土)～8月26日(日)
20.  
横尾忠則 在庫一掃大放出版  
2018年9月15日(土)～12月24日(月・振替休日)
21.  
横尾忠則 大公開制作劇場 ～本日、美術館で事件を起こす  
2019年1月26日(土)～5月6日(月・振替休日)
22.  
人食いザメと金髪美女―笑う横尾忠則展  
2019年5月25日(土)～8月25日(日)
23.  
横尾忠則 自我自損展 ゲスト・キュレーター:横尾忠則  
2019年9月14日(土)～12月22日(日)
24.  
兵庫県立横尾救急病院展  
2020年2月1日(土)～8月30日(日)
25.  
横尾忠則の觸體まつり  
(開催中止)
26.  
横尾忠則の緊急事態宣言  
2020年9月19日(土)～12月20日(日)
27.  
Curators in Panic～横尾忠則展 学芸員危機一髪  
2021年3月27日(土)～8月22日(日)
28.  
横尾忠則の恐怖の館  
2021年9月18日(土)～2022年2月27日(日)
29.  
Forward to the Past 横尾忠則 寒山拾得への道  
2022年4月9日(土)～7月18日(月・祝)
30.  
横尾さんのパレット  
2022年8月6日(土)～12月25日(日)

## 関連イベント

### ■キュレーターズ・トーク

担当学芸員が本展の見どころを分かりやすく解説します

日時:2月18日(土)、3月18日(土)、4月15日(土)

※ いずれも14:00—14:45

会場:当館オープンスタジオ

講師:当館学芸員

定員:30名(先着順)参加無料

※イベントの詳細や、その他のイベント情報については当館ウェブサイトをご覧ください

## 基本情報

開館10周年記念

横尾忠則展 満満腹腹満腹

10th Anniversary Exhibition

Yokoo Tadanori: A Full Stomach! (Man-Man-Puku-Puku-Man-Puku)



2023年1月28日(土)—5月7日(日)

開館時間 10:00—18:00 ※入場は閉館の30分前まで

休館日 月曜日

主催 横尾忠則現代美術館([公財]兵庫県芸術文化協会)、神戸新聞社

後援 サンテレビジョン、ラジオ関西

協力 ホテルオークラ 神戸

観覧料 一般700(550)円、大学生550(400)円、70歳以上350(250)円、  
高校生以下無料

・ ( )内は20名以上の団体割引料金

・ 障がいのある方は各観覧料金(ただし70歳以上は一般料金)の75%割引、その介護の方(1名)は無料

・ 割引を受けられる方は、証明できるものをご持参のうえ、会期中美術館窓口で入場券をお買い求めください

出品点数 約260点

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、検温やマスク着用などへのご理解・ご協力をお願いいたします

※ 状況に応じて予定が変更になる場合があります。最新情報は当館ウェブサイトをご覧ください

## お問合せ

横尾忠則現代美術館

〒657-0837 兵庫県神戸市灘区原田通3-8-30

tel. 078-855-5607(総合案内) fax. 078-806-3888

学芸担当:山本淳夫<yamamoto\_atsuo@ytmoca.jp>

広報担当:早水千尋<hayamizu\_chihiro@ytmoca.jp>

画像データは当館ホームページ(<https://ytmoca.jp>)のプレス専用ページからお申込みいただけます  
ホームページに掲載されていない画像は、上記連絡先までご請求ください

Yokoo Tadanori Museum of  
Contemporary Art

Y+T MOCA

横尾忠則現代美術館